

広報 なごや市会だより

名古屋市会の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶



議会の活動

令和3年(2021年)1月 臨時号

名古屋市会の活動特集

新型コロナウイルス感染症対応

市会だより1月号では、名古屋市会の活動特集として、正副議長からの新年のごあいさつや、コロナ禍の中での名古屋市会の対応、名古屋市会の情報をチェックできるホームページ・インターネット中継などについてお伝えします。

名古屋市会

Q 検索



名古屋市ウェブサイト(市会情報)▶

正副議長からの新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。令和3年の年頭にあたり、市民の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

さて、昨年、瞬く間に全世界に拡大した新型コロナウイルス感染症が国内で流行し始めてから、間もなく1年が経とうとしています。この間、本市においても感染の拡大が続き、命や健康への不安だけでなく、人の移動や接触の制限によって、さまざまな分野でその影響が深刻となっています。

このような危機的状況から市民生活や地域経済を守るため、引き続き、感染拡大防止に全力を尽くすとともに、先見的な感染症対策や市民・事業者への局面に応じた支援を、迅速かつ的確に行っていくことが最優先となっています。

併せて、コロナ禍によって浮き彫りとなった行政手続きやオンライン教育など行政のデジタル化の遅れや、発生が懸念される南海トラフ巨大地震、近年頻発している豪雨など自然災害への対策も急務となっています。

一方、第20回アジア競技大会の開催やリニア中央新幹線の品川－名古屋間の開業を控える中、本市が将来にわたり成長を続けていくための戦略的なまちづくりのほか、社会経済情勢の変化に伴い複雑化する市政課題や多様化する市民ニーズにも着実かつ的確に対応していく必要があります。

名古屋市会は、こうした認識のもと「コロナ禍によって苦しんでいるところに行政の支援は行き届いているか」「自然災害などへの対策は十分か」「社会経済情勢の変化に的確に対応できているか」などといった多角的な視点で、議会のチェック機能をしっかりと果たすとともに、皆様さまざまな声に耳を傾け、市民の視点による政策立案・政策提言を行うことで、市民の皆様の生命と財産を守り、この地域の活力と元気を高められるよう、全力を傾けてまいります。

本年が皆様にとりまして幸多い年となりますよう、心から祈念申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



名古屋市会議長

中里 高之

(緑区選出)



名古屋市会副議長

山田 昌弘

(千種区選出)



コロナ禍の中で名古屋市会 はこう動いた 7大トピックス

令和2年の名古屋市会では、コロナ禍から市民の生命・健康や生活を守るという決意のもと、主に次のような対応を行いました。

—迅速・的確に審議—

異例の14回！ 一般会計補正 予算を審議

新型コロナウイルス感染症への対応を中心とした、14回(うち3回は専決処分)にわたる一般会計補正予算などを審議し、可決・承認
(令和2年2月定例会から令和2年11月定例会までの間)

—質問・調査—

約20年ぶり！ 緊急質問を実施

新型コロナウイルス感染症に関する本市の対応について、東海豪雨のあった平成12年以来、約20年ぶりとなる緊急質問を実施
(令和2年2月定例会)

—迅速・的確に審議—

急ぎよ！ 4月臨時会を開催

新型コロナウイルス感染症への対応に関する議案を速やかに審議するため、緊急に4月臨時会を開催

—国に要望—

異例！ 5月臨時会で 意見書を提出

緊急を要するため、議会構成を決める5月臨時会では異例となる「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額を求める意見書」を国に提出

—質問・調査—

全常任委員会で！ 各局の対応状況を 調査

すべての常任委員会で、所管局に係る新型コロナウイルス感染症への対応状況について調査を実施
(令和2年6月(議会閉会中))

—迅速・的確に審議—

全国初！ 新型コロナ関連 条例を可決

新型コロナウイルス感染症に特化した条例としては全国初となる「新型コロナウイルス感染症の感染拡大を全市一丸となって防止するための条例」を審議し、可決
(令和2年2月定例会)

—議会での対策—

徹底！ 議会での新型 コロナ対策

視点①：議会の役割を果たす
原則、定足数が確保できる限り本会議・委員会を開会することや、非常時に優先すべき議事順序の確認などを実施

視点②：行政機能を停滞させない
本会議等への出席説明員は必要最小限とするなどの対応を実施

視点③：本会議・委員会での感染を防ぐ
マスク着用や換気、アルコール消毒液の配備などを実施

☞新型コロナ対応の一年のあゆみについては、2・3面をご覧ください。

コロナ禍の中で **名古屋市会** はこう動いた **新型コロナ対応の一年のあゆみ**

2月定例会

平成12年の東海豪雨以来、約20年ぶりに緊急質問を実施し、全国初となる新型コロナ関連条例や新型コロナ対応に関する補正予算を可決

2月定例会では、新型コロナウイルス感染症への対応として、市内での新型コロナウイルス感染症に関連する患者の発生・拡大を受けて追加提出された条例案や補正予算の審議のほか、緊急質問などを行いました。

条例

●新型コロナウイルス感染症の感染拡大を全市一丸となって防止するための条例

全市一丸で新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組むため、市・事業者・市民の責務などを定めるもの

補正予算

●中小企業への融資に係る名古屋市信用保証協会に対する信用保証料補助

融資に係る信用保証料のおおむね3年間分を免除するための名古屋市信用保証協会に対する補助

議会での対策

- 委員会運営に支障のない範囲での出席説明員の調整(以後継続)
- 換気やアルコール消毒液の配備をはじめとした感染防止対策の実施(以後継続) など

市の責務

- 正しい知識の普及啓発と情報の収集・整理・発信に努める。この場合、感染者などの人権を尊重しなければならない。



市民の責務

- 正しい知識を持ち、感染症拡大の防止に十分に注意を払うよう努める。



事業者の責務

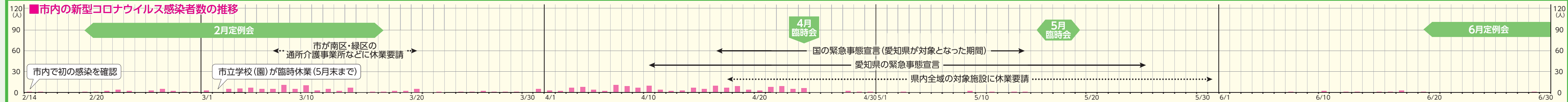
- 正しい知識を持ち、管理する場所での感染症の発生やまん延の防止に努める。
- 従業員による感染拡大の防止に向け、市が行う情報提供の求めなどが円滑に行われるよう努める。

緊急質問

●各会派を代表して5人の議員が新型コロナウイルス感染症に関する本市の対応について緊急質問を実施(平成12年の東海豪雨以来、約20年ぶり)

- デマなどの不正確な情報に対してホームページ等で注意喚起を!
- 高齢者や子どもなどの配慮が必要な方に対し、今後マスクの備蓄を!
- 新型コロナウイルスへの基本方針を打ち出して早急な対応を!
- 休校措置が取られた場合も受験生が不利にならない対応を!
- 局面的変化に合わせて受診目安などの適切な情報提供を!
- 感染拡大防止のためにバスや地下鉄、駅などのアルコール消毒を!
- 市民の安心・安全や感染拡大防止のために検査体制の強化を!
- 市民サービス継続のために職員へのマスク配布や時差出勤の実施を!
- 患者受け入れに協力してくれる医療機関に本市として支援を!
- 医療機関の体制整備のために国や県にも財政措置の要求を!

主な内容



6月定例会

**新型コロナ対応などに関する補正予算を可決
6月定例会前には全常任委員会で新型コロナ対応状況を調査**

6月定例会では、新型コロナウイルス感染症への対応として、補正予算の審議などを行いました。また、6月定例会前の6月5日には、全常任委員会で新型コロナウイルス感染症への対応状況について調査を実施しました。

補正予算 例えば...

●民間病院経営維持資金貸付金

資金繰りが悪化している第二次救急医療を担う病院などを運営する医療法人への無利子・無担保の資金の貸付



●児童生徒用タブレット端末の購入

小・中・特別支援学校の全児童生徒に1人1台ずつのタブレット端末整備を前倒して実施



個人質問

●新型コロナウイルス感染症への対応などについて、24人の議員が個人質問を実施

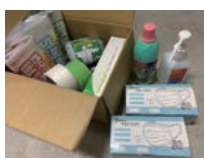
所管事務調査

●6月定例会前の6月5日に、全常任委員会で新型コロナウイルス感染症への対応状況について調査を実施

例年、同時期の各常任委員会では、市内の現場視察を実施することが多いですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて実施せず、本調査を実施しました。

●指定避難所衛生用品等の備蓄

指定避難所に非接触式検温器、マスク、消毒液などを備蓄



●観光消費喚起事業

市内観光施設の入場、飲食、交通機関等で使用できる3,000円相当分のクーポン券などを発行



9月定例会

国への意見書や新型コロナ対応などに関する補正予算を可決・承認

9月定例会では、新型コロナウイルス感染症への対応として、議員提出議案である意見書や補正予算の審議などを行いました。

補正予算 例えば...

●医療費の公費負担等

感染症患者の医療費およびPCR検査費などの公費負担の増額



●高齢者・子ども・妊婦インフルエンザ予防接種費用の助成

65歳以上の高齢者などや、生後6カ月から小学2年生までの子どもと妊婦への予防接種費用の助成



●学校の情報通信ネットワーク環境整備等

ICTを活用した教育を推進するための校外ネットワークの増強や可動式プロジェクターの購入



●中小企業の新しい生活様式対応支援

新しい生活様式に対応した設備などを導入する市内中小企業者に対し、50万円を上限に補助



意見書

●国に対し、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書を提出

個人質問・質疑

●新型コロナウイルス感染症への対応などについて、29人の議員が個人質問・質疑を実施

5月臨時会

国への意見書や新型コロナ対応に関する補正予算を可決・承認

5月臨時会では、新型コロナウイルス感染症への対応として、議員提出議案である意見書や補正予算の審議などを行いました。

補正予算 例えば...

●市民生活を支える事業の継続応援金

不特定多数の市民と日常的に接する事業を継続している施設に対し、一事業者あたり10万円を交付



●感染症対策協力金(市独自制度)

入居する複合商業施設などの方針により休業を余儀なくされた施設に対し、一事業者あたり50万円を交付



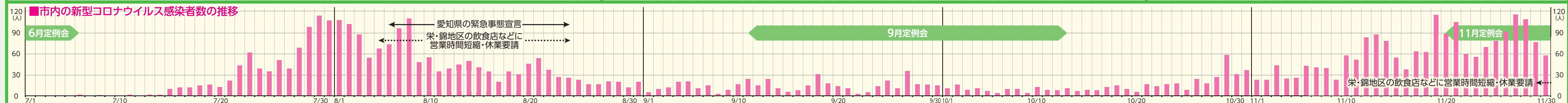
意見書

●国に対し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額を求める意見書を提出

通常、議会構成を決める5月臨時会では、意見書の審議は行っていないが、緊急を要するものとして財政福祉委員会から発議要請があったことを受けて審議・可決し、提出に至りました。

個人質疑

●新型コロナウイルス感染症への対応について、各会派1人ずつの計5人の議員が個人質疑を実施



→詳しくは、令和3年2月発行予定の広報なごや市会だより第174号をご覧ください。

名古屋市会の情報はインターネットでチェック!

名古屋市会の情報は、ご自宅などからでもインターネットで知ることができます。ぜひご利用ください。



① ホームページ

名古屋市ウェブサイト(市会情報)では、議員名簿や市会の日程、議案の審議経過・結果などのさまざまな情報がご覧いただけます。

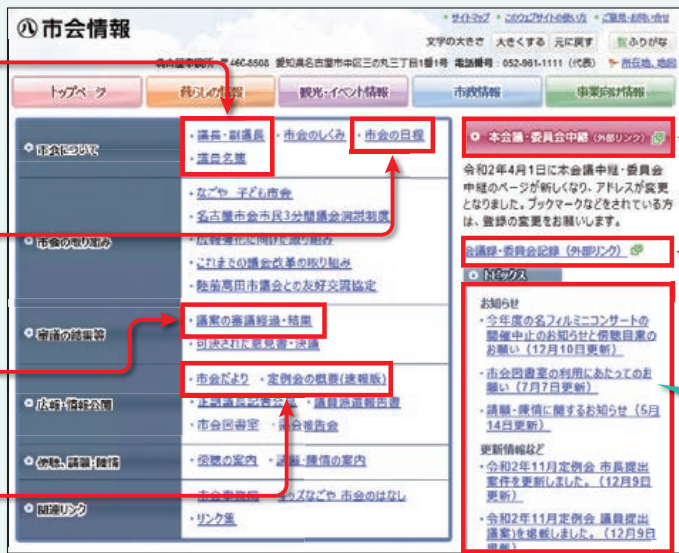


名古屋市会の議長・副議長や、すべての議員を区別・委員会別・会派別・50音別に知ることができます

本会議・委員会の予定日時や質疑・質問通告内容などを知ることができます

市長提出案件・議員提出議案の案件名や付議委員会、議決日、議決結果などを知ることができます

過去の定例会などの内容をコンパクトに知ることができます



インターネット中継はこちら
※②に詳細を掲載しています

会議録・委員会記録はこちら
※③に詳細を掲載しています

ココがおすすめ!

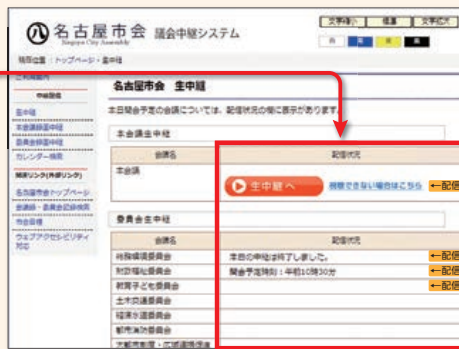
名古屋市会からのお知らせや更新情報などが、一目でわかるようになっています

② インターネット中継

インターネット中継では、本会議・常任委員会・特別委員会の生中継と録画中継をご覧いただけます。なお、録画中継の配信は、本会議・委員会のあった日の2日後(土曜・日曜・祝日除く)から1年間です。



当日の中継配信予定を確認することができます



〈本会議の中継画面〉



〈委員会の中継画面〉

会議名からご覧いただけます
また、議員名や会派名、内容からも検索できます

※この画面は、本会議録画中継のページです
委員会録画中継の場合は、委員会名が表示されます

③ 会議録・委員会記録

会議録・委員会記録検索システムでは、対象年・キーワード・発言者から検索ができ、過去の本会議・委員会の記録をご覧いただけます。



最新年の本会議・委員会の記録はこちらから



キーワードや発言者からも検索できます

過去の記録はこちらから



名フィルミニコンサート 開催中止のお知らせ

名古屋市会では、例年、2月定例会に先立ち、本会議場において名フィルミニコンサートを実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、傍聴の自粛をお願いしている状況を踏まえ、今年度については開催しないことといたしました。



編集後記

あけましておめでとうございます。市民の皆様にはできるだけ見やすく、分かりやすい形で市会の情報をお伝えできるような紙面づくりに取り組んでまいります。これからも「市会だより」をご覧いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

編集委員一同



編集委員長
浅井正仁
(自民・中川区)



編集委員
日比美咲
(民主・名東区)



編集委員
河本ゆうこ
(減税・守山区)



編集委員
田辺雄一
(公明・千種区)



編集委員
さいとう愛子
(共産・名東区)